

「日本の民家 一九五五年 二川幸夫・建築写真の原点」展の展示について

展示構成：藤本壮介

1971年生。2000年2月青森県立美術館設計競技2位（優秀賞）受賞を機に、一躍建築家として注目されることになった。

2008年2月「情緒障害児短期治療施設」（北海道伊達市）で2008年度日本建築大賞を受賞。

2011年台湾タワー国際設計競技最優秀賞。2012年イタリアヴェネチア・ビエンナーレ第13回国際建築展金獅子賞

展示方法・内容：

- ・一点一点の迫力とそのたたずまいを尊重しつつ、その背後にある写真の膨大な拡がりを感じてもらえるよう、あたかも作品が宙に浮遊しているかのような空間を作り出すことを目的としている。
- ・展示室C、展示室D、展示室Bの3室で展示写真72点を展示するが、順路は『日本の民家』出版当初の編集に基づいて構成した
 - 展示室C：「京・山城」→「大和・河内」→「山陽路」→「四国路」→「西海路」
→「陸羽・岩代」→「武蔵・両毛」→「信州・甲州」
 - 展示室D：「北陸路」
 - 展示室E：「高山・白川」
- ・映像室では、二川幸夫氏への撮り下ろしインタビューを交えた展覧会紹介映像（13分）を常時上映する
- ・展示室Aでは、二川氏がこれまでに手掛けた代表的な書籍約60冊を展示して、クオリティの高い出版物の発行を通じて世界の建築をリアルタイムで日本に紹介した業績を紹介。また、これらの書籍の一部を自由に手にとって鑑賞できるスペースも併設予定

パナソニック汐留ミュージアムでの展示風景



会場の様子 :



パナソニック汐留ミュージアムでの展示風景



展示内容一覧	壁掛け	天井吊り	備考
展示室A			書籍展示
展示室B		9ヶ所	
展示室C1		9ヶ所	
展示室C2		27ヶ所	
展示室D	4枚	4ヶ所	
展示室D廊下	1枚		
映像室			映像展示
合計	5枚	49ヶ所	

パナソニック汐留ミュージアムでの展示風景

